



こだま

第1号

発行日 令和4年1月31日

発行 大谷小学校PTA

編集 PTA広報委員会

表紙 多様性のイメージ画



おもしろい!!

集まった時が

一人一人が違うほど

将来の夢
上司から信頼
されたいから
給料も定めた
正社員
瑠花

神絵師に
なれるように
絵をかきまくり
たいです。
【ゆうな】

自然に関わる
仕事をしたい
のどか



おしえて!
**の夢
たい?
なりたい?**

将来の夢
●絵を描く仕事
Kohani
好子
**芸術家
瑠星**

将来の夢
●絵を描く仕事
Kohani
好子
**内科医師に
なりたいです。
困っている人を
助けてあげたい
です。まな**

イラストレーター
優
(いっ)

諒也
プログラマー

サッカー選手
芯羽

イラストレーター
優
(いっ)

介護王に
なる!
堂々としてる人
になる!
天大

人のために
なる
虎士郎

建築家
になりたいです
陽菜子

重労働のかんどし
じいさんのサポート
をしたいから
巴菜

いかり
獣大医さん

保育士に
なりたいた
です!
か陸

公務員
山田花菜

歯医者
唯我

私は将来、
人を助けられる
職業
につきたいです。
あいり

社長になりたい!
いな

失敗を
少なくは
い
誠太

ファッション
デザイナー
あわか

ドッグカフェ
(ドッグランも)
美口美

看護師
になりたい
です。
いおり

保育にかかわる
仕事
実夢

自動車整備士
になる!
みんなが安全な
の車にする!!
式千翔羽

人のために
なる仕事
聖翔

重労働の
食司育員
真之介

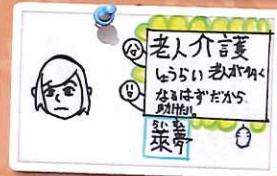
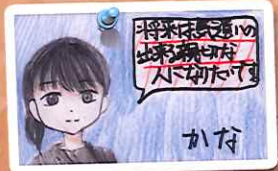
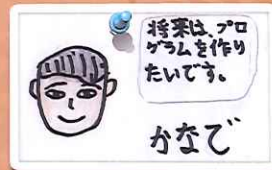
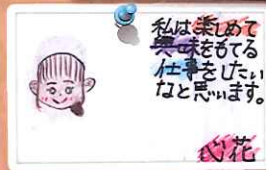
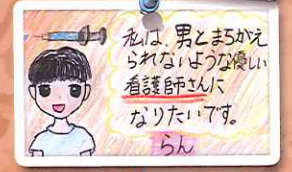
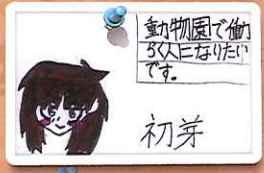
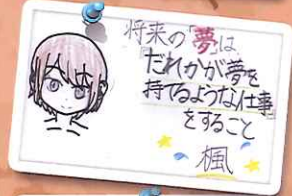
芸術家
岩木汁

ひめかです!
保育士

人のために
できる仕事
美咲

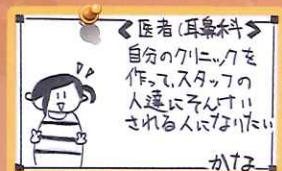
ぼくはバスケットの選
手になりたいです。
蒼空

法曹関係の仕事
にしたい
和生



将来何になり どう

6-1





教育

新時代の学びのスタイル



ICT



コロナ禍も相まって、今年度から各授業で本格的に活用され始めたChromebook。急速な教育の

プ ロスポーツチームさながらに、自分たちのプレーを動画に撮り、スクリーンに映し出された映像を見ながら検証し、「どうすれば上手くなるのか？」を話し合っているのは、3年生の体育の授業。成功例や失敗例を、映像によって目で見て確認する事で、言葉だけでは伝え切れなかった事も、分かりやすく伝えられるようになります。

こうした『GIGAスクール構想』と呼ばれるICT機器を活用した教育が、各教科で本格的に始まりました。調べ学習に使うのはもちろんの事、調べた内容を仲間たちと共有し、意見交換を行う事こそが最先端のICT教育の真骨頂。

主体性を育むICT化

社会や道徳の授業では、資料画像を見て気付いた事や、先生から投げ掛けられた問いに対し、付箋を使ってボードに意見を書き込んでいくetc. 活発な意見交換が行われています。ファイルを共有すれば、仲間たちの取組内容がリアルタイムで表示され、グループワークもスムーズに。教育のICT化は、学習意欲の向上にも役立っているようです。



「動き」があると「楽しさ」も倍増!! 子どもたちが意欲的に取り組めるように、先生方はいつの時代も、工夫を凝らしてくださっています。



ググッとみよう!!

今日のキーワード

GIGAスクール構想 検索

「1人1台端末」「高速大容量の通信ネットワーク」の整備というイメージの強いGIGAスクール構想。その目的は、多様な子どもたちを誰一人として残す事なく、個別最適化された学習環境を実現する事にあります。先生や子どもたちの能力を最大限に引き出すために、従来の教育に最先端のICT技術を取り入れます。

問題

予想

ググッと
みよう!!

今日のキーワード

Chromebook

検索

Googleが独自開発した「Chrome OS」を搭載したパソコン。動作スピードの速さと、教育に有効なGoogleサービスとの親和性が特徴的です。



学んだ事や自分の意見を「シェア」する事で、アウトプットする事や、言葉を介してコミュニケーションを取る事の大切さも学べます。



「ア」 プリを活用する事で、学んだ内容をクイズ形式で確認し、正解すればポイントが加算されて最後にランキングが出てくる...みたいな授業展開も可能になります。クラスは盛り上がりますし、子どもたちも学習に対して、主体的に取り組むようになります。こうした楽しさがあるからこそ、メリハリをつけて取り組む事が、より重要になります。Chromebookを使わない時は画面を閉じて「見る」「聞く」事に集中する、「書く」作業が減らないようにプリントに書き込む作業も

残すなど、従来の学習方法と織り交ぜる事によって、リズムを生み出しているようです。特に調べ学習で活用した後は、話し合いの時間や発表の場を作ったり本物に触れる機会を設けたりと、画面上だけでは終わらせないように工夫。「新しい学びのスタイル」への対応に、先生方も試行錯誤の毎日です。

共に学び、共に取り組む

「リ」 アルな世界とバーチャルの世界との「バランス」が肝となる一方で、「環境整備」や「慣れ」という点では、多くの課題が横たわります。例えば、ネットに繋がりにくいと授業の進行に支障が出るというのも、そのうちの二つ。6年生がChromebookを持ち帰って行ったオンライン授業では、ICT授業の利便性と課題の画面を再確認出来る実証結果が得られました。

また、デジタル機器の利用に関するルール作りや情報モラルについても、理解を深めていく必要があります。こうした点は学校のみならず、保護者も子どもたちと共に学び、共に課題をクリアしていくという姿勢が大切です。教育現場の変化に親子で対応していく事は、リアルな世界で共に取り組むという事の素晴らしさを再確認する、良いきっかけとなるかもしれませんね。

「従来型」と「新しさ」の間で...

CT化は、大谷小学校の子どもたちの学校生活に、どのような変化をもたらしているのでしょうか？



端末を持ち帰る、家のWi-Fiから繋げてみるetc. 初めての試みが満載だったオンライン授業。少しずつ慣れていく事で、様々な活用方法に繋がりそうだと、先生方も感じられたようです。





パーティションで「自分のスペース」を作り、学びに集中出来る環境を作っています。また、広い場所でものづくりをする事で、探究心も育ちます。



特別支援学級「3・4・5組」を深掘り!!

「特別」とは付いているものの、決して特別ではない

“教育の原点”を観じる空間

個性溢れる子どもたちが持つ「無限の可能性」——
それを引き出すために、様々な工夫がなされています

教

室の一角に置いてある
段ボールで作られた船
や家、パーティションで区切ら
れた座席、個別少人数制の学
習：特別支援学級の教室は、
「多様性」という言葉がマッチ
する空間です。教科書も学習
内容も1・2組と全く同じで、
Chromebookだって使わ
れています。異なる点を挙げ
るとしたら、それは個々の歩
みのペースだけ。名称こそ

特別支援学級だけど、通常学
級の子ともたちと同じ大谷小
学校の子ともである事に変わ
りなく、特別でも何でもなし
——そう思った思いから、クラ
スの名前が「1・2組」に続
く「3・4・5組」へと変更
されました。自分の好きな事
や得意な事に時間を使い、
個々の特性に応じた学習を展
開しつつ、通常学級に入れる
時は1・2組の教室で授業を
受ける…このように、一人
一人のびと学習に取り組め
る環境に最適化されている
3・4・5組の教室は、「個を
大切にする」という教育の
原点のようなものを、改めて
観じる事が出来ます。

褒めて自信に繋げ「得意」を
伸ばす事を大切にしています。
そのためには「出来た」と「やっ
てみよう」の積み重ねです。



一人一人の様子や集中度合
いに応じてリフレッシュする時
間を設けます。そんな時は、
段ボールの船や家が大活躍!!



個別最適と協働的

「令和の日本型学校教育」とは？



一人一人の子どもが自分自身の「良さ」「可能性」の認識する事…それが「生きる力」へと繋がります。



様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するために、学校教育の在り方も日々進化。ICT機器は、あくまでそれを実現するための「道具」です。



自分らしさを発揮して、社会に柔軟に対応していく…この願いは、どの子どもにも共通です。

新 学習指導要領が始まったのが2020年度。コロナ禍もあって社会の在り方は急激に変わり、教育を取り巻く環境もこの1〜2年で劇的に変化しました。そうした中で、全ての子どもたちの可能性を引き出すための取組が、教育現場には求められています。そのキーワードとなるのが「個別最適な学び」、そして「協働的な学び」です。

— ICT機器を活用した新しい教育も、個を重視した特別支援学級も、この流れを受けて行われています。一人一人の特性や学習状況、興味関心のある事に応じる柔軟性と、学んだ事をシェアし、お互いの良さを生かし合う活動…この両方が、令和時代の教育における核であり、学校・保護者・地域が共通概念として意識しておきたい内容です。



全ての子どもたちの可能性を引き出すために…



ググってみよう!! 今日のキーワード

Society5.0

検索



情報社会と言われる Society4.0 に、更に高度化された先端技術を取り入れた、サイバー（仮想）空間とフィジカル（現実）空間が融合した未来社会の姿。『第5期科学技術基本計画』（内閣府）で「経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義されています。

一人一人の子どもと深く、じっくり関わる事を「支援級の魅力」と話すのは、5組担任の望月先生。音読をする時は個別で横について、同じ目線で二語ずつ確認しながら見届ける、出来た事があつたらその場ですぐに褒めて認める、声を掛ける時は穏やかで柔らかに…これらに関わる上で大切にしていると話してくれました。問題が起きた時も、怒るのではなく、質問をして答えさせて、その子自身が考える機会を作る。常に「一人一人」を大切に、一人一人に合わせるという3・4・5組の本質的な部分が、見えた気がしました。



Special Interview

広い視野と深い愛情をお持ちの教務主任の先生です

吉川 宏 先生

子どもたちの「出来た」は、苦しさを乗り越えた先にこそ存在します。では、更にその先に待っているモノとは…？それを見られる事が「楽しさ」と仰る吉川先生。さて、一体何なのでしょう？

子どもたちが先生に？

ICT化による教室内の変化

子 子どもたちが「一台、授業内で Chromebook を使う」

それが「常識」となりつつある中で、「高学年はノート代わりに使っています。子どもたちから使い方を教えてもらう事もあり、我々教員を抜くのも時間の問題です」と、今年度から大谷小学校へ赴任した吉川先生は、笑いながら話してくれました。教室のICT化により、誰もが意見を出しやすくなり、授業の展開もスピーディーに。一方で、環境整備や利用マナーに関する指導も、今後の課題も浮き彫りとなりました。

「常識が通用しない時こそ成長に繋がる大チャンス!!」

I ICTを通して「未知の世界」を知る事は、視野の広がりにも繋がります。吉川先生は似たような事を、オーストラリアの日本人学校での勤務を通して経験されたそうです。「体育座り禁止、整列する時の並び順は自由、ピアス可など、日本の常識が通用しない事に最初は戸惑いました。でも、子どもたちはみんなリラックス出来る環境の中でのびのびとしていて、姿勢は悪く

てもちゃんと話を聞いているのです」

——吉川先生の中での世界観の広がりが「日本の教育の良さと課題の両方に気付かせてもらいました」との事です。



子どもたちの笑顔…それが吉川先生の「力の源」

教 師が「教える・覚えさせる」事よりも「子どもたちが自分で考えて・追求する」事が重要」と話す吉川先生——「問題は、キツリやる事と、のびのびとリラックスしてやる事とのバランス。苦しさを乗り越えた先にある「出来た」の瞬間の笑顔を見る事が、教師という仕事を

——日本の教育は、苦しさを乗り越える「我慢強さ」を養う良さがありません。「好きな事を極める事が、まず第一歩です。何か一つを極めれば、他もついてきます」——極めた先にある「未知の世界」を知る事で、子どもたちは笑顔になり、それが吉川先生の笑顔へと繋がっているのです。ICTスキルでは抜かれても、愛情深さは簡単に抜かれなそうです。

◆ 編集後記

今年度のテーマは「全ての子どもたちの可能性を引き出すために」——大谷小学校でも、この1年間でICT機器を活用した授業が進みました。Chromebookを使いこなす子どもたちを見て、時代の変化に大変驚かされました▼特別支援学級「3・4・5組」の魅力に迫る中では、個性溢れる子どもたちと愛情溢れる先生に魅了されました。学校に足を運ぶのはまだ難しい状況ですが、少しでも学校の雰囲気伝われば幸いです▼活動中に緊急事態宣言があり、こだまを発行出来るのか不安な時期もありました。そんな大変な時期でも、いつも前向きな姿勢で取り組んでくださる広報委員の皆様と関わった事を、大変嬉しく思います▼取材にご協力くださった先生方、写真を提供してくださった株式会社アロマイメージ様、そして広報委員会のアドバイザーでありデザイナーの佐野立樹様に、深く感謝致します。

◆ 広報委員

- 1年 竹内 さおり
- 川島 友実
- 2年 岡 ゆり
- 新村 由佳
- 3年 矢崎 悦子(委員長)
- 太田 あゆみ
- 4年 保本 知江(副委員長)
- 鈴木 洋子
- 5年 石川 恵理
- 三木 愛子
- 6年 望月 聖代
- 栗原 藍子